はばたけ

名護幼稚園
名護小学校　便り４号
令和４年５月１９日
発行者　仲宗根 勝也

学校だよりカラー版は、名護小学校ホームページに掲載しています。

楽しかった！　入学を祝う会

一昨日、児童会主催の「入学を祝う会」を行いました。コロナ禍でも行事をできるように、児童会の皆さんと先生方が工夫して、入れ替え型・オンライン型の会となりました。１年生は、体育館の舞台側に座り、各学年が入れ替わり、立ち替わり体育館に入り、メッセージやプレゼント、出し物、ゲームを行ってくれました。そして、その様子をオンラインで全学級に配信するという方式です。

色々な各学年の出し物やプレゼントにとても喜んで、楽しそうに参加していた１年生。１年生にとっては、お兄さんお姉さんの存在を強く感じたひとときになったと思います。中でも、６年生のあいさつの中で、「困ったときには、色々聞いてください。必ず力になります。」と言っていたことが、ジーンときて、とても印象に残りました。

コロナ禍ではありますが、できる限りの対策をとり、工夫しながら子どもたちにとって必要な行事は進めていきたいと思いますので、これからも、保護者の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

２年生からメダルのプレゼント

３年生の校歌ダンス

６年生の魔法のマットゲーム

５年生から「折り紙コマ」のプレゼント

４年生のダンス

１年生からお礼の言葉

６年生代表のあいさつ

司会の児童会の皆さん

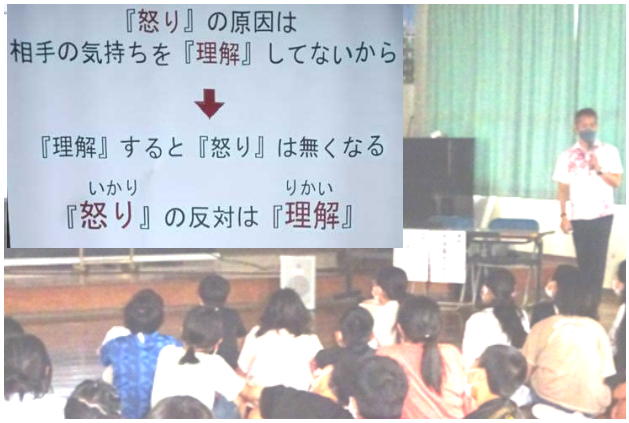
アンガーマネジメントって？

去る、5月13日に6年生を対象に、本校スクールカウンセラーの大塚義也さんを講師に「アンガーマネジメントの講演会」を行いました。

様々な怒りの感情。攻撃性が強まる激しい感情。この怒りの破壊的な面だけを見ると、“怒り＝良くない感情”と捉えてしまいがちです。しかし、怒りには悔しさや自分に対する怒りをバネに努力するように、人を動かすモチベーションとしても有効活用できるそうです。

「怒り」は人が生まれつき持っている本能ですが、社会で生きていくためには「自分で自分の怒りをコントロールする」というのは、とても大切な力であるというお話がありました。自分が主体的に感情を選択できるスキルとしてアンガーマネジメントを身に付けるということです。

約45分のお話でしたが、ワークショップも取り入れた講話で子どもたちもすごい集中力でやる気に充ちた講演会となりました。講演会後も、数人の子どもたちが大塚先生を囲んで話をしていました。子どもだけでなく大人にも必要なアンガーマネジメント。ぜひ、全学年で実施したいと感じました。ところで、皆様はどんなアンガーマネジメントをお持ちですか。ご家庭でも話題にできるといいですね。



心の花　咲かせます！

地域にお住まいの比嘉啓文（第39代本校校長）様より、百日草の花の苗（約600本）をいただきました。比嘉さんは、これまでも四季折々の花のご提供だけでなく、花壇等の環境整備や毎朝の交通安全の立哨など名護小学校の大応援団としてご協力をしてくださっています。心より感謝いたします。これから、子どもたちと一緒に心を込めて育てて、名護小学校を心の花でいっぱいにしていきたいと思います。比嘉さんは、大西トンネル前で交通安全をしてくださっていますので、児童の皆さんの元気なあいさつと感謝の一声があるととても嬉しいです。よろしくお願いします。

準優勝　おめでとう！

去る5月8日に行われた、第10回ゆがふいんCUP少年フットサル大会において、名護ドルフィンの皆さんが、見事、準優勝に輝きました。キャプテンの玉城昇典さんは、「みんなで力を合わせ、みんなで守りみんなで攻める。」ができたおかげだと話していました。とても元気いっぱいのドルフィンの皆さん。6月に全国大会の派遣をかけたフットサルの県大会もあるそうですが、サッカー大好きなサッカー少年を目指して、体も心も磨いて欲しいと思います。今後の活躍を期待していますね。